湖月抄

初音

曜文庫

初音　并一　細花　以年并詞為巻名　年八年月とまつよ

ひろれて年ふる人の子の雪のうちつもるとせよ詞名ゆいは日ありつ
ゆ　此巻にてうつくしくうつくしくてつねにみるかぎりなくて
ゆ　とあるべしこれ源氏物語の正月のまきとうつ
并のつ　政務の書　聖年のまきれば堅乃并也　孟月　細堅
の并　紀書　書年　月次　出　二月　うぐひす
巻　忠　二月　うぐひす　ねぐら　とて　あるべし　正月
なり　二条　六条院　住わ　年　うつくしき　正月也　と
ゆ　院　あり　光源氏　一院　の義　よ　因　いづ　巻　出　院　と　分明
なり　ねと　源氏　八代　書　源氏　物語　巻　とうつくし

年　正月　細　正月一日　ゆ　これば　冬　の　空　よ　ふ
雪　うつくし　元日　立春　なり　べし　仰　去年　の
書　年　の　雪　月　名　詩　を
うつ　一　天　去　立　とられ
ゆ　歌　うつくしぬ　細　六条院　を
云　うつくしく　先　の　男
を　つ　也　孟　聖　巻　これ
ゆ　紫　つ　と　ひ　ば
こ　そ　う　ね　の　ま　も　去
め　き　よ　これ　去　の　ひ　う
の　い　つ　こ　も　と　う　ぬ
まて　い　つ　細　六条院
なり　年　生　こ　あ　う　う
う　こ　年　始　え　翠
蓋　な　ば　や　う　の　り　れ　ま
で　も　引　つ　う　ひ　く　こ　ま
あ　う　く
去　の　ま　く　ば　細　二條　よ　去
ゆ　う　こ　蓬　渤　よ　去　れ　給
の　也　別　の　根　を　ひ　く
歌　う　こ　ぬ　根　よ　の　四　と　云

年　う　う　る　あ　う　の　そ　う　れ　な　う　こ　名
殘　な　う　く　う　と　ま　ぬ　う　う　ば　う　げ　さ　よ　い　歌　な
う　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま　ま
う　よ　な　づ　こ　そ　あ　い　ま　し　う　と　う　ば　ど　う
殘　よ　ま　の　め　と　け　う　う　を　の　び　う　こ　人
の　う　う　と　の　び　う　う　ぞ　こ　ま　う　う　ま　す
て　い　う　ば　な　ま　を　ま　け　う　ば　ま　人　い　庭　う　う
う　ば　め　う　ば　ま　ば　ま　う　ば　ま　う　ば　ま　う　ば　ま　れ
四　町　の　う　ま　の　あ　う　う　ま　ば　ま　の　び　う　そ　ん　と　云
う　ば　の　う　ま　う　ば　う　う　ま　ば　う　く　う　ん　ま　の　ま　う　ば　れ　ま
の　紫　う　う　う　ば　う　く　う　ん　ま　の　ま　う　ば　れ　ま
へ　う　う　う　て　梅　の　き　も　う　す　の　内　れ　旬　な
ま　ま　ば　ひ　て　い　う　れ　の　こ　う　ま　と　ま　ば　面

[illegible]

法華経云栴檀香風悦可衆心

[illegible]

[illegible]

[illegible]

孟中将の志よりはあひさ
かを表さむと伊勢物語を
さむじさ　細　表紙を紙にして
まきてあり
孟中将の志
細　源氏物語の
長和三年正月二日
鏡術覚是其例也
細　源氏物語
孟源
細　源氏物語
孟源
細　源氏物語
孟源

（十巻記云四月子日引小松 定遠年ノ云々 花円融院寛和元年二月十三日戊子御幸
紫野ニ立幄屋 仍 殖小松 下畧 今案此歌ハ山の小松を植ゑ給ふ
ひけこひもろこ 仍 鶴籠 檜破子 花円融院子日御幸檜破子屋御前ニ云々
ゑゑゑゑゑゑゑゑゑゑゑゑの歌 細 他抄ニ云ひぎとつけゝり 云ゲ松ノ歌の巣ゑるゝこと
とうりかまとり
仍 拾遺ニ云大荒の云々 宮
内ゝ ふわゝゝゝゝゝ
対大臣の西前よりさゝ
ひりうげゝよ 細 ゝゝゝ
あ宗氏歌の歌ゝとれ
ゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝれいつゝふゝゝゝ
松の上よ歌の歌ゝとこ
そゝゝゝの日ゝゝゝゝ
ゝゝゝれ 拾遺この歌
とゝひて出ゝ松よ歌ハ
仍 歌の歌あゝ仍ゝゝ
ゝゝゝゝゝゝん 細 ゝゝ
あひゝゝ仍ゝれゝ歌
ゝんあゝてんゝゝ
年月を 細 姫君集ニ云
ゝ仍ありて ゝゝ年に
ゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝせゝゝゝゝゝゝ

の歌ゝ
人ゝ
歌寄
年月を松よひれくゝゝ人よゝ
の仍ゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

好物 白氏文集 右者日 仰 元多の夜と五月雨

細 やけしと云ふ云ふ事すくれうざまさんくさく 紙上のさてそりひきめべくさくて 保の文の文のまつ
づくつくさくさくさ

ていろのう聲もるで
ぢがもれるえびるれどく
花の色さそふ　細　考ふ
らい梅の色ときそそりつぐ
きと花とつのく玉ちく
文よ梅とつふ梅たう梅
たり・古今・花の色を月
の梅よりぐへてどとふ
を梅とつぐ　細　花　花　伝陸
地のちくべ
時色よい大貴の例よ
るどくく花の色ち
とめ・くうめや・地の玉
らべくらるるぢつるる
但地のちくべといい色曲
よつきて時の調よを
ちくく・楽器のる色
うつるべくくれ
のくの　細　俗るふ河　酔
殿呂この殿いもべもき
うくきくらきのわくれ
ときくきの花二陸きく
さのくめぐくうぐう
くつくりとりや殿つ

のくくもくもくちり花の色さそふ
夕風のぐくちみ行くよ世人の梅や
くくひとくくおれいはぐきたりに
地のちくべくくゆりくくのとれくら
あくくりくくく

ひのうさのこの人いそのまごされるくつてめれ
のしろげのさしのぐりんらよれの
うん人いそうさそのわぐひよさぐひ
やうよ
人のねぐひようぐひみうもそもねう
はげうさ
ちの文乃
しく
くりて
ええしれわぐこと比よ
ゆさ
なれうさ

とかたまつあとと
うのしん川のさしの
思按是蓬生書よ末
接のうみうううう
こやのうと
ぐひうひうあうぐ
ううの書よ和寄の髓
脳よんとれうもうう
ぐあり
人のかしあれと
細まつむい人ぐうれぐ
人目のうぐりぐりを
つよしうさり盃人の
ううう方るれ川原の御
まあうびあうぬ
酒のうぐう 西古 ぬち酒
は酒のうみうまつ
まう者よ和しる書さも
ぐう 細 京の寄い
酒のみるううのう
いふ宮 をつく繋よて
つく思さ箱すうえを
ぬう繋を酒ようう
酒のうぐう

とかたまつ繋のうつつう
ふうう
まあうもひうの絡つて
盃原の書接へ四稲よ向
絡ハぬく
稲ハけようそ 細 茶のさ
ぬうぐりの時公情方
よハ稲文を糸ぐ世あ
しうう 伊 家のう
あうを中つ世られ川は
処合ぐとうくえうう
く稲ハけようそとは
うれよ地つけうこ
とぐかり
ううさうひわり 細つう
ぐかうく 西 掻絲ハ紅
よ裏浦しうく 光掻ね
ぐハううさ紅のうり
うう絡うつり教れば
思ひ地ぐさいくしく
さやくとぐうん
さうとり地のううさ
五掻さうとり地とハ原
うりつうぐれうそ稲

とばぬもひひ絡うずやうぐさ
げようそすうぐうれとうう
うのうるひうぐうぬべひうれ
くううさうねうのうひぐうう
ううひく 光 絡
うぐひううのううさ
ねのううさうぐいうようるうう
うあうん 松もれの色ぐうり 霊ふもま
ぐうもぐく花やううよ松んうのもわう
ひうつ 清ル
ぐうれまて
ひうつ薄ま
ぐ松ぬ

のどうの物のうちさく

[illegible]

細 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[

[illegible]

[illegible]

[illegible]

げよる海めぐりしく れんぐんせあうしてこゝ西ろ
人のけうひるりあをまびのまてんぐんおの
しゝよいゝくねゝれて神ぐら神ぐい
ろことりゝ西ゝとるゝゝれば海ぐゝまて
れぐゝゝ三ゝ海ぐゝゝよひてぐやゝねべ
ゝゝゝ西ゝ細海の名ゝゝんゝゝゝゝ苦ゝれゝゝと
ぐよぐゝゝりのひゝびぐ西ゝぐゝゝゝよ
ゝぐの海わゝまぐゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
てゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

男踏奇　細　彩紙或西

文抄よあり。日本紀抱
流天皇七年
正月丁酉漢人奏踏歌
日本紀　倒係或本西
例西宮抄等とりて来
男踏奇十四日女
踏奇十六日と見る男踏
可十四日よあり敏上地下
山西後ニ下の業ちゑ
さ西くとめでてさん
じくとうくひ業ちゑ
づくくあり。正月十四日
此日よ京中の婦女月さ
ちてあちこちをを
めてうてひ年より
車はくれりとものの世
よよ考百業くえて逸
無とりもかもあり

とのくまひくべくもあくどくたくこの音今
の踏歌とくてくどりのつふくひくよあれの
しくあるくこと孟春ひのくまくやくまくふくくくくてとれ
うげよくれくくくく

[illegible]の金風亭の點茶の天元六年男踏歌あり[illegible]始て記録なり[illegible]
[illegible]左右五位のうちにさしのるべき儀式の[illegible]一般[illegible]
[illegible]西の對の[illegible]の[illegible]
[illegible]水驛[illegible]細[illegible]
[illegible]
[illegible]

白枝ハ舞人中くらゐと聞こえ。舞童ハ緑袍をとくくくそろ
ぞーの綿ハ 白 踏歌の人以綿遊花羌冠額也号スる巾子ゆえ孟綿をしゆ
ゆてゆく 花西宮抜文巻末抜云巾子之六位以綿異面ゆく
殿の中納言ハ内の弓箭の弓道 細中納言殿伊衛左殿敦右殿中将寛頼右寄頭李アヲ記
花延長七年踏歌右殿中将
以例よりぞくくくり
竹川うゑひて 細うゑふ歌く 白 竹川ハ僧ゐる楽長竹川のうれつめゆゆや花そのの
よ二時花園よりれどゆゆうてうれをいうるてやゆくーゆくゆくて。新儀式云次王
郷以下勧盃侍臣所雛色以下行酒三四巡後漸調子唱新川云云
うゑわう姿 細舞くし 白 舞の袍をれゆゆ自兵アゆの者よ来ゆうれる紳
ゆゆ 紳をひろうを紳と紀記曲し修曲修装の出流ゆゆ
ゆゆもゆゆゆゆゆゆん。
細 壱ハ絵よゆゆゆゆ絵と
く。孟畫花不畫白畫
鳥不畫声。東坡十一李伯
時陽関圖詩龍眠独識
憑懃処畫出陽関意外。
声
ゆのゆーゆゆゆゆ公
孟天ゆゆせハ柳掾とゆ
ゆゆせて紳ゆ書れゆ
ゆゆ 仲殿の内よ柳掾
の咲ゆゆれーゆくゆゆ紳
の緑よゆゆ公とゆく

ゆゆ 孟藤の二ゆくよ白黄紳をゆゆを柳
ゆゆゆゆゆゆ

内蔵寮にてこれを奉る内侍従人[illegible]
[illegible]
のうめ[illegible]六位五人の[illegible]
裏の[illegible]式に
中務の多八弁のおもと　細　[illegible]の大臣也[illegible]
[illegible]
[illegible]人の　細　延喜天暦[illegible]

中務のとど　[illegible]
[illegible]
有職の[illegible]
[illegible]
[illegible]

不審抄に物ゝの[illegible]
以後[illegible]
[illegible]

仏げうの[illegible]

[illegible]の後書　細踏寺の後書よ模して[illegible]
延喜の例　西宮抄儀式に[illegible]
それ[illegible]
樂あるべき[illegible]
[illegible]
[illegible]